

和歌山市立加太中学校

平成28年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

調査内容

実施日：平成28年4月19日(火) 実施対象：3年生 1学級 17名

全国学力・学習状況調査は、出題範囲を調査実施学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、国語・数学の2教科について、「知識」と「活用」の2種類の問題が出題されます。国語A・数学Aでは、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などについて国語B・数学Bでは、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などについて出題されます。

* 全国平均と比較

《国語科の調査結果に見える本校生徒の傾向》

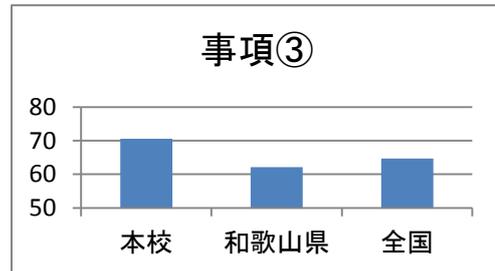
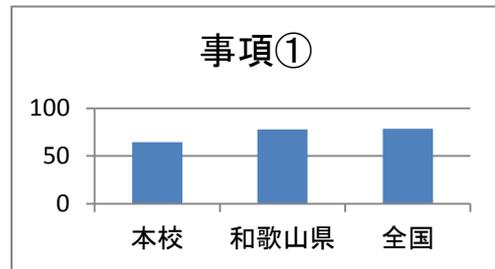
(本校の平均正答率 国A:68, 8% 国B52, 9%)

(全国に比べ特に正答率の低い項目)

- ・事項①・伝えたい事柄について根拠を明確にして書く。
- ・事項②・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。

(全国に比べ正答率の高い項目)

- ・事項③・文章を読み返し文の使い方などに注意して書く。



《数学科の調査結果に見える本校生徒の傾向》

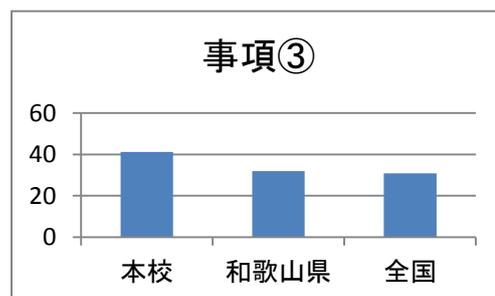
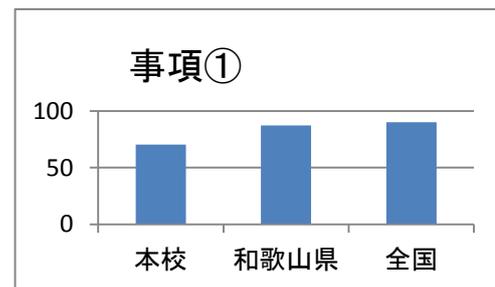
(本校の平均正答率 数A46, 6% 数B23, 9%)

(全国に比べ特に正答率の低い項目)

- ・事項①・計算(正・負の数、加減法、方程式)
- ・事項②・空間の位置関係(空間でのねじれ等)

(全国に比べ正答率の高い項目)

- ・事項③・垂線の作図の方法についての理解



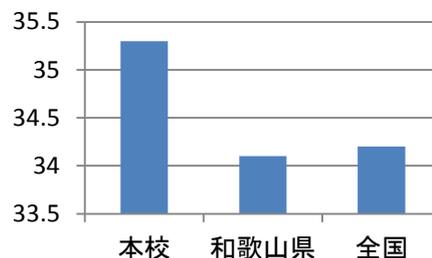
和歌山市立加太中学校

* 全国平均と比較

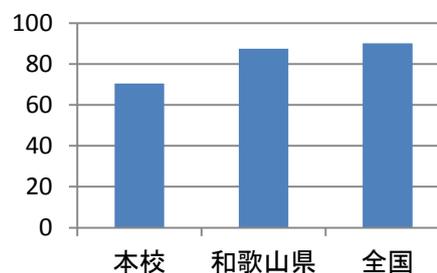
《質問紙調査結果に見える本校生徒の傾向》

- ・事項① ・平日、家庭で2時間以上勉強している生徒はいるものの、土日の学習時間が極端に減っている。
- ・事項② ・国語の学習が好きな生徒が多いものの学校以外で読書をしない生徒が多い。
- ・課題① ・学校へ行くのが楽しいと感じている生徒が、とても少なく、好きな授業もない生徒が多い。
- ・課題② ・宿題や予習・復習をしている生徒の割合が少ない。
- 。課題③ ・数学の学習が好きな割合が極端に低い。

事項①



課題②



調査結果を受け、本校が取り組んでいくこと

《学習習慣の定着》

○家庭で計画を立て、学習習慣を定着させる指導を行う。

《基礎基本の定着》

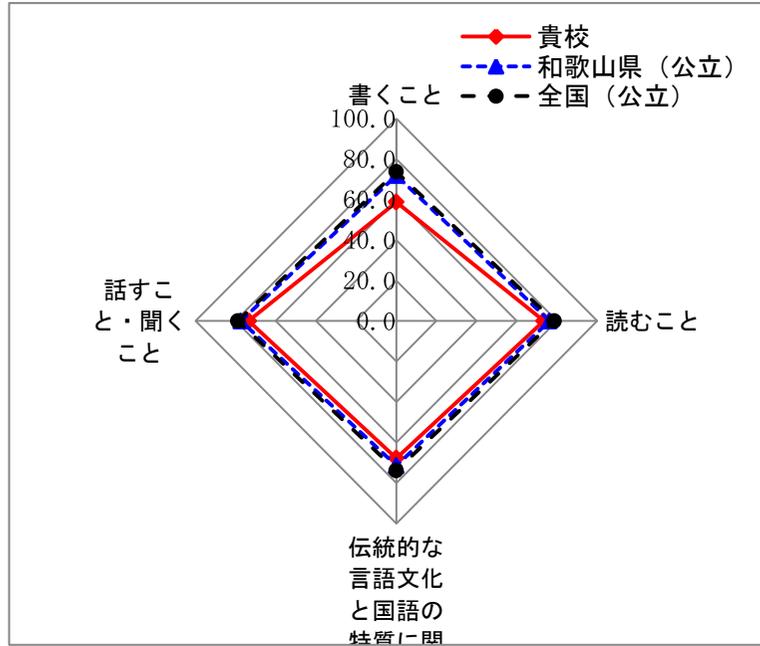
○放課後の補充学習の充実を図り、宿題の指導にもしっかりと取り組む。

《授業の工夫》

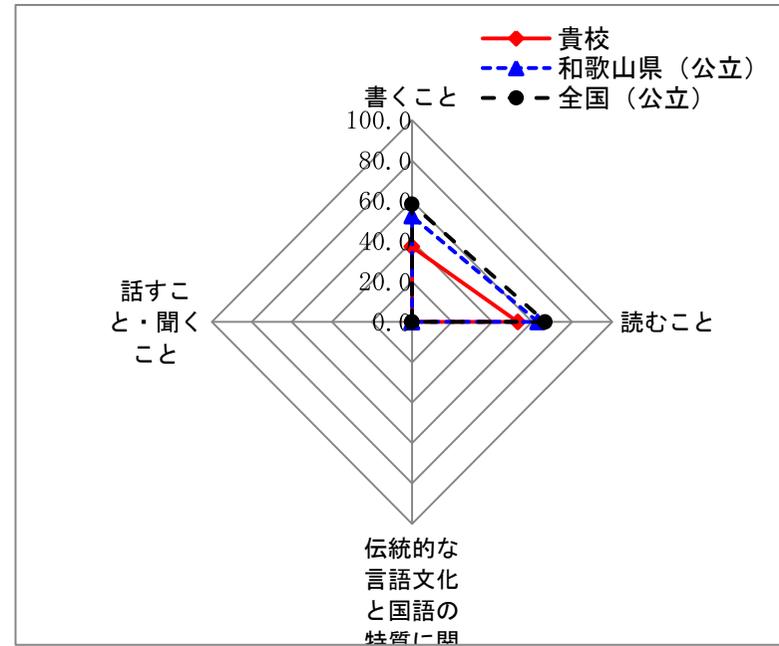
○わかる授業をテーマに各教科の楽しさ、面白さ、不思議さを感じさせながらの取り組み。

○生徒同士の教え合い、学び合いの確立。

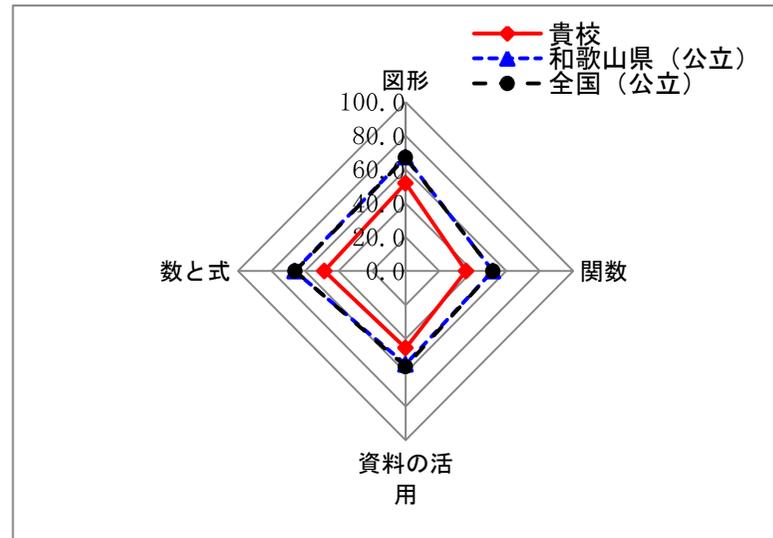
国語A



国語B



数学A



数学B

